

びわ湖の
すべてを
感じる
ミュージアム

さあ、つぎの「びわはく」を始めよう。
2020年秋、グランドオープン



滋賀県立
琵琶湖博物館

LAKE BIWA MUSEUM

2020年秋、グランドオープンします。

滋賀県立琵琶湖博物館は、琵琶湖とその集水域および淀川流域の自然、歴史、暮らしについての理解を深め、地域の人々とともに「湖と人間」のよりよい共存関係を築いていくことを使命として1996年に開館しました。開館から20年で約1,000万人の人々に利用されています。

琵琶湖博物館は、琵琶湖岸烏丸半島に位置し、湖をテーマにした博物館としては日本で最大規模であり、琵琶湖と人間の関わりについての展示、淡水専門の水族展示を含め多彩な展示を行っています。

滋賀県立琵琶湖博物館は

「びわ湖のすべてを感じるミュージアム」

●母なる湖・びわ湖

世界でも20数カ所のみが確認されている「古代湖」。日本最大の湖、びわ湖は400万年という長い歴史をもち、日本で唯一の古代湖です。



●使う・集う博物館

展示を見るだけでなく、「使い」、「集う」ためのミュージアムです。



●びわ湖と人に出会う

琵琶湖博物館は目の前に広がる湖だけでなく、そこに暮らす生き物たちや、人々に出会うことができるミュージアムです。



●湖と人間の未来をともに考える

「湖と人間」をテーマとして、両者のよりよい未来について、みんなで考えていくためのミュージアムです。



●五感で感じる、発見を楽しむ

湖の生き立ち、人々の歴史、自然と私たちの暮らしの展示をはじめ、湖の生き物の生きた姿を見ることができる水族展示もあわせもつ総合博物館です。



リニューアルでめざす「新・琵琶湖博物館」

展示交流空間の再構築を通じて、「湖と人間」の未来を考える多様な視点を提示し、タイムリーでわかりやすい情報発信に努め、より多くの人々にご利用いただく博物館をめざします。

●第3期はA展示室・B展示室をリニューアル

第1期として2016年7月にC展示室と水族展示室を第2期として2018年に交流空間をリニューアルしました。さらに2020年を目途に第3期のリニューアルを計画しています。



part 1 第1期として「C展示室」と「水族展示」からリニューアルスタート 体感! 驚きと感動、学びと発見が生まれる展示

●新展示の特長

体感型・参加型展示や実物資料、交流の場の増加などにより、子どもから大人までが楽しめる、驚きと感動、学びと発見の機会に満ちた発信力の高い展示となりました。



驚きと感動

見えなかった世界が見えてくる展示

琵琶湖から森林まで、身近な景観を入口に、環境・人間・生き物の関係性を伝え、生き物の生き生きとした姿やふだん目にするのけない生き物などを紹介することで、これまで見えなかった世界が見えてくる驚きと感動にあふれた展示となりました。

学びと発見

タイムリーでわかりやすい展示

新たな知見・環境問題等についてわかりやすく情報を提示することにより、環境や生き物、私たちの暮らしとの間にある「つながり」に気づき、来るたびに新たな発見や学びがある展示となっています。

part 2 第2期は「交流空間」をリニューアル 第2期リニューアルのテーマは「交流」

●新しい交流空間の特長

博物館で活動している人たちの顔が見え、興味を持つ人のだれでもが参加できる交流活動を展開しています。



だれでもが楽しめる空間

琵琶湖博物館を訪れるだれでもが楽しみ、体感・体験ができる空間となりました。

●大人も日常的に楽しめる空間

身近な自然や環境について、解りやすく新たな発見がある場となっています。

●対話と交流がある空間

地域の団体や個人が活動できる空間を整備しました。展示室での対話と交流を促し、次世代を担う人が育つ交流の拠点を目指しています。

●学校・団体利用の快適な空間

学校等の大規模団体の利用促進を図るため、開館以来二階の高い昼食場所や体験学習ができるスペースを整備しました。

●多様な人々に対する安心・安全な空間

高齢者や障害者などの団体が利用しやすい休憩所、介護場所やトイレを整備しました。

琵琶湖へ誘う屋外交流空間

琵琶湖と森を感じる空中遊歩道

自然に近づき、琵琶湖を渡る風を感じながら、琵琶湖が一望でき、森を上から観察できる空中遊歩道を整備しました。

アミューズメント空間

滋賀県産食材の魅力発信・博物館の感動をお持ち帰り

地域オリジナルな商品等を提供し、レストラン・ショップの魅力を高めました。



琵琶湖の変化にとんだ
生い立ちを紹介します。

part **3**

第3期は「A展示室」と「B展示室」をリニューアル

「湖と人間」の未来を考えることができる展示

A展示室 湖の400万年と私たち ～変わり続ける琵琶湖～

400万年間の琵琶湖や自然、生き物の変化について、現在の環境との関わりとともに紹介します。「大地と湖」「生き物」「気候と森」の各コーナーでは、開館以来収集してきた多数の化石や地層の標本、過去の環境を

体感できる復元ジオラマやハンズ・オン展示をとおして、大きく変化し続けてきた琵琶湖と生き物のものがたりと琵琶湖フィールドの魅力を伝えます。

2 琵琶湖と生き物のものがたり

化石や地層の調査法と地域の中にある過去を紹介します。



1 琵琶湖のものがたりのはじまり

現在の琵琶湖の風景とそこにある過去の情報を含む標本がお迎え。

1. 琵琶湖のものがたりのはじまり



地層から迫る
琵琶湖の400万年史

3 変わる大地と湖

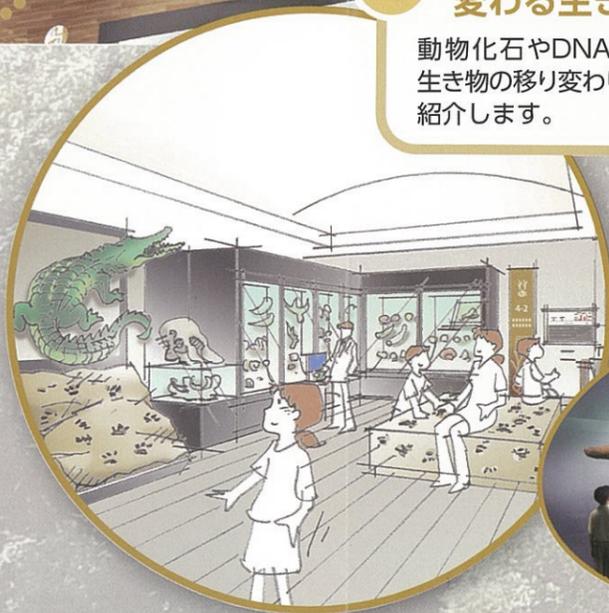
地層や地形模型から、琵琶湖の生い立ちの謎にせまります。

3. 変わる大地と湖

4. 変わる生き物

4 変わる生き物

動物化石やDNA研究で、生き物の移り変わりを紹介します。



6 琵琶湖の生い立ちと私たち

琵琶湖が記録してきた400万年の環境変化をまとめます。

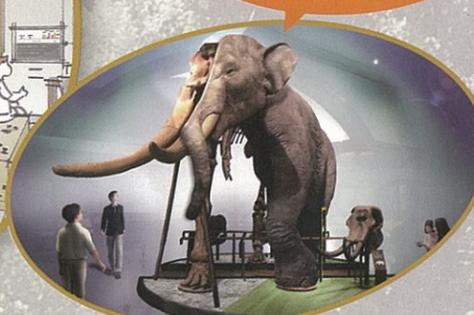


5 変わる気候と森

植物の化石から、琵琶湖地域の気候と森の変化がわかります。



世界初!化石巨大象の
生体・骨格復元登場!



自然や人びとの暮らしの変化、そのつながりを伝え、琵琶湖の過去からいま、そして未来を考える多様な視点を提示する展示となります。

琵琶湖の自然と人間の物語をお楽しみください。



暮らし（C展示室）にどのようにつながっているのかを伝えます。

B 展示室

湖の2万年と私たち ～自然と暮らしの歴史～

「森」「水辺」「湖」「里」を舞台に、人は自然とどのように向き合ってきたのかを紹介します。人からみた自然のシンボルである「龍」をナビゲーターとして、琵琶湖を中心とした環境史をたどっていくことで、今の私たちの

新展示へいざなう、眼前に浮かぶ伝説の龍



1 私たちの暮らしのはじまり
近江に棲む龍
龍に出迎えられ、導かれて、人と自然の物語へ進んでいきます。

2. 森ゾーン

3. 水辺ゾーン

6 今の私たちの暮らしへ
琵琶湖に生きてきた人の歴史をまとめ、今生きる私たちの暮らしにつなげます。

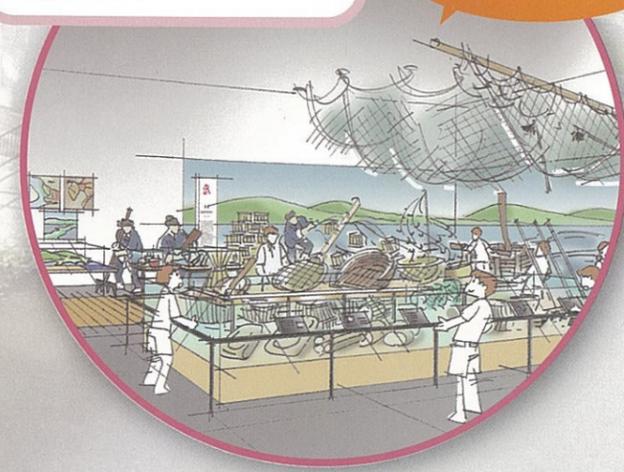
5 里ゾーン
人をむすぶ・村をまもる・自然をかいならす
村を中心に、人と人、人と自然のつながりを伝えます。



2 森ゾーン
森にくらす・森をひらく・森をつくる
縄文時代の森の暮らしから始まり、森を切り開いていく人間活動をみていきます。

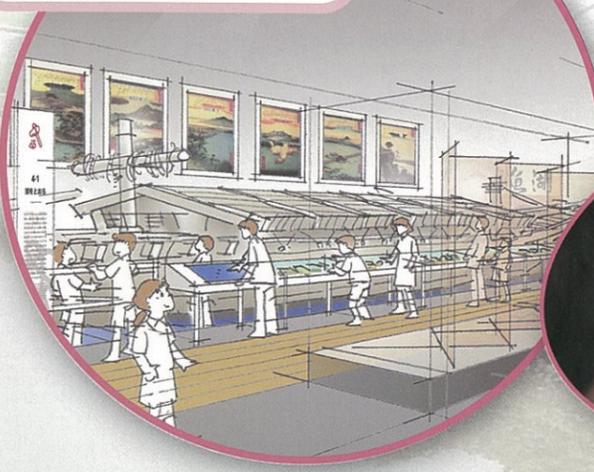


3 水辺ゾーン
水辺をつかう・水辺にすむ・水辺でかせぐ
あらゆる知恵をつかって水辺をかせぎの場としていく様子を探ります。



琵琶湖ならではの漁を体験・体感!

4 湖ゾーン
湖をとおり・湖からみる・湖をつかう
琵琶湖の特徴的な船、丸子船を中心に湖上交通、利水、観光を紹介します。



展示室の丸子船が湖に浮かび、江戸時代の風景が広がる!

1. 私たちの暮らしのはじまり

4. 湖ゾーン

6. 今の私たちの暮らしへ

5. 里ゾーン

アクセス



■電車・バス

JR琵琶湖線「草津」駅下車、琵琶湖博物館きバス25分

■自家用車

名神高速道路 瀬田西ICから約40分

栗東ICから約30分

新名神高速道路 草津田上ICから約40分

小中学生無料・入館者は駐車場無料



滋賀県立
琵琶湖博物館

LAKE BIWA MUSEUM

〒525-0001 滋賀県草津市下物町 1091

TEL 077-568-4811 FAX 077-568-4850

<https://www.biwahaku.jp/>

